

授業資料ナビゲータ(Path Finder)・ ポッドキャストによる 新たな利用者・教育支援

2009年度学術情報リテラシー教育担当者研修

千葉大学附属図書館

鈴木 宏子(大阪会場) 2009年10月22日

丸茂 里江(東京会場) 2009年11月19日





内容

- 千葉大学の試み 理念と背景
- 1. パスファインダー
 - パスファインダーとは？
 - 千葉大学の試み
 - 今後の展開と課題
- 2. ポッドキャスト
 - ポッドキャストとは？
 - 千葉大学の試み
 - 今後の展開と課題

千葉大学の試み

理念と背景



- 千葉大学中期目標「図書館機能の高度化とデジタルキャンパス化推進」
 - 中期計画「カリキュラムに即し、授業に密着した情報提供の強化策を検討・実施」
- 中央教育審議会大学分科会制度・教育部会「学士課程教育の構築に向けて(答申)」平成20年12月(注1)
 - 初年次教育の重要度
 - 図書館の利用・文献検索の方法

目標：教員連携と学生支援



教員

シラバス
授業、研究



現在の学習環境

教員・学生・図書館の繋がりが希薄？
⇒連携強化へ

学生

何を見て、どうやって勉強すればいい？



図書館員

本・電子ジャーナル
ガイダンス



目標達成のための、 リエゾン・ライブラリアン・プロジェクト^(注2)の 活動



- 教員との連携強化
- 授業支援



パスファインダー
の作成

- 教員との連携強化
- 学生へのアプローチ



ポッドキャストの
作成



1. パスファインダー

● パスファインダーとは？

- 「ある主題について、関連する文献・情報の探索法をまとめたもの。一般にリーフレット形式でまとめられる。」(注3)
- 「図書館資料をよりよく利用するための道しるべ」(注4)
- パスファインダーの特徴
 - 特定のトピック(topic)を扱っている
 - ナビゲーション機能がある
 - 資料・情報源の一覧性がある
- パスファインダーとは呼べないもの
 - 図書館の「利用案内」
 - 特定ツールのマニュアル

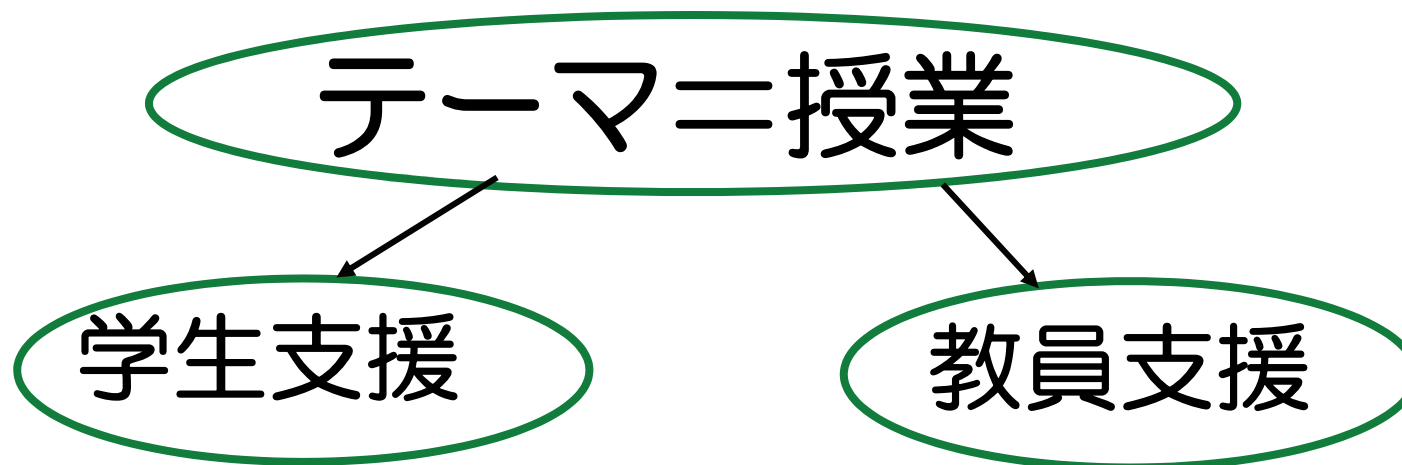
(パスファインダーバンクホームページによる)

http://www.jaspul.org/e-kenkyu/kikaku/pfb/pfb_frameset.htm

千葉大学附属図書館の2006年度計画

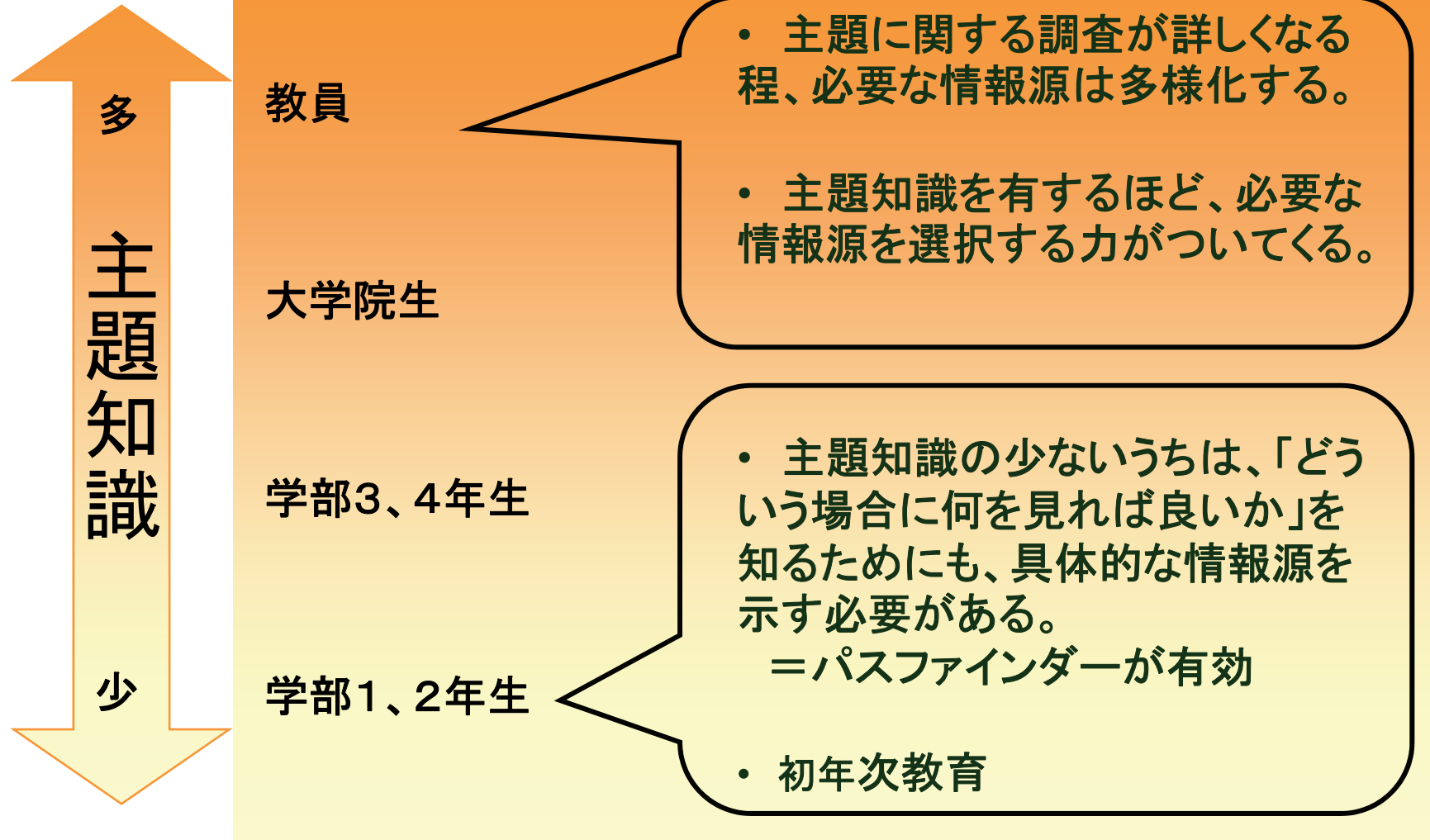


- 「教養教育である普遍教育の授業に連携し、**テーマ別情報資源案内を作成する**」
- 「学生の情報収集活用法の習得を支援する」



- **主題知識の乏しい初学者へのナビゲーションツールの作成**
- **教員との連携強化**

ターゲット⇒学部1、2年生



PathFinderのある学習・研究環境



千葉大学の試み 作成の経緯 (注5) 発足から作成公開まで(2006～2007)



- 2006.6 普遍教育センターと連携協議
学長に対し、米国視察報告と、リエゾン・ライブラリアン・プロジェクト計画のプレゼンを行う
- 2006.10 リエゾン・ライブラリアン・プロジェクト発足(7名)
普遍教育センターと次年度開設科目PathFinder作成打合せ
- 2006.12 普遍教育教養コア科目担当教員とPathFinder作成について
意見交換
- 2007.1 部局長連絡会で事業の紹介
試作品完成
- 2007.2 未所蔵資料の発注
- 2007.3 PathFinder完成(29科目作成)
- 2007.4 PathFinder公開、パスファインダーコーナー設置



パスファインダーの企画

● 作成対象科目の選択

- 1年生必修の教養教育課目＝普遍教育科目教養コア科目
- 全6分野 120科目のうち、以下の人文社会学系の3分野60科目を対象とした
 - コアA(倫理と哲学) 20科目
 - コアC(芸術と文化) 20科目
 - コアD(社会と歴史) 20科目



パスファインダーの作成

- **テンプレートの作成**
 - デザイン、配色、分量 A4 2ページ（両面印刷で1枚）
 - キーワード、授業名、授業コード、担当教員名、分野を記載
 - Web情報、図書、参考図書、論文、視聴覚資料などを列記
 - 各資料になるべく小さいコメントを付ける
- **「[本や論文を探す方法](#)」を用意しリンク**
 - 本や論文の基本的な探し方は専用のガイドを用意（HTML版）
- **配布方法**
 - Web (HTML, PDF)での提供、紙による提供
- **周知方法**
 - 図書館、普遍教育センターWebサイトからのリンク
 - 図書館、普遍教育センターにポスター等
 - 新入生向け資料に掲載
- **資料の可視化**
 - 掲載された図書は集めて配架する(コーナーを作る)

教員との協働作業

フィードバックの繰り返し作業



教員

- 情報提供・アドバイス
 - 授業のテーマ
 - キーワード
 - 参考文献
 - 紹介したいWebサイト
- 査読
- 修正依頼
- 確認・校了
- 授業で紹介、配布

図書館員

- 協力依頼
- 調査と文献収集
 - 所蔵有無、入手
- 編集
- 査読依頼
- 修正・校正
- 完成、Web公開・印刷
- 図書 of 装備・配架

パスファインダーと資料の提供



- Web (HTML, PDF)での提供
 - 図書館、普遍教育のページからリンク、シラバスのページから紹介
- 紙(リーフレット)による提供
 - 授業で配布、図書館に常備
- 専用コーナーの設置
 - 掲載図書を集中的に配架
 - オビをかけて装備
- 授業終了後はリポジトリ (CURATOR)にアーカイブ

授業資料ナビ
コーナー



授業資料ナビ
用装備本



活動記録：試行と改善の経緯

教員と学生のアンケートを踏まえて



2007年

- 教養コア29科目
- 専用コーナーを設置
 - 掲載図書を配架(禁退出)

2008年

- 教養コア47科目
- 名称変更
 - 「授業資料ナビゲータ(PathFinder)」
- 専用コーナーに2冊常備
 - 貸出可と館内利用
- 授業で全員に配布
- フルテキストリンク(CURATOR)

2009年

- 教養コア41科目
- 教養展開5科目
- 文学部5科目
 - 文学部FDと提携
- 「履修案内」に掲載

教員による評価(2007年度)



● 好意的意見

- 「周知徹底できなかったものの、基本文献はすでに示してあるという安心感を学生と共有できた。」
- 「かなり興味を持ってみてくれており、ここから他の資料を検索するなどの利用もあったのではないかと思います。」
- 「講義内容の理解やレポートの作成に役立つ情報が提供されているので、恐らく有益であったと思います。」

● 問題点指摘

- 「指定した本がまとまって置かれるのは便利ですが、その反面、貸出が出来なくなるのは、一般の学生には不便では、と思いました。」
- 「授業の進行に応じた体裁にしても良いのではないか。学生はどこから手を付けてよいのか結局わからなくなる。」
- 「初めてのことで事情がよく飲み込めない部分がありました。もっと工夫すればよりよい内容になると思います。」

教員による評価(2008年度)



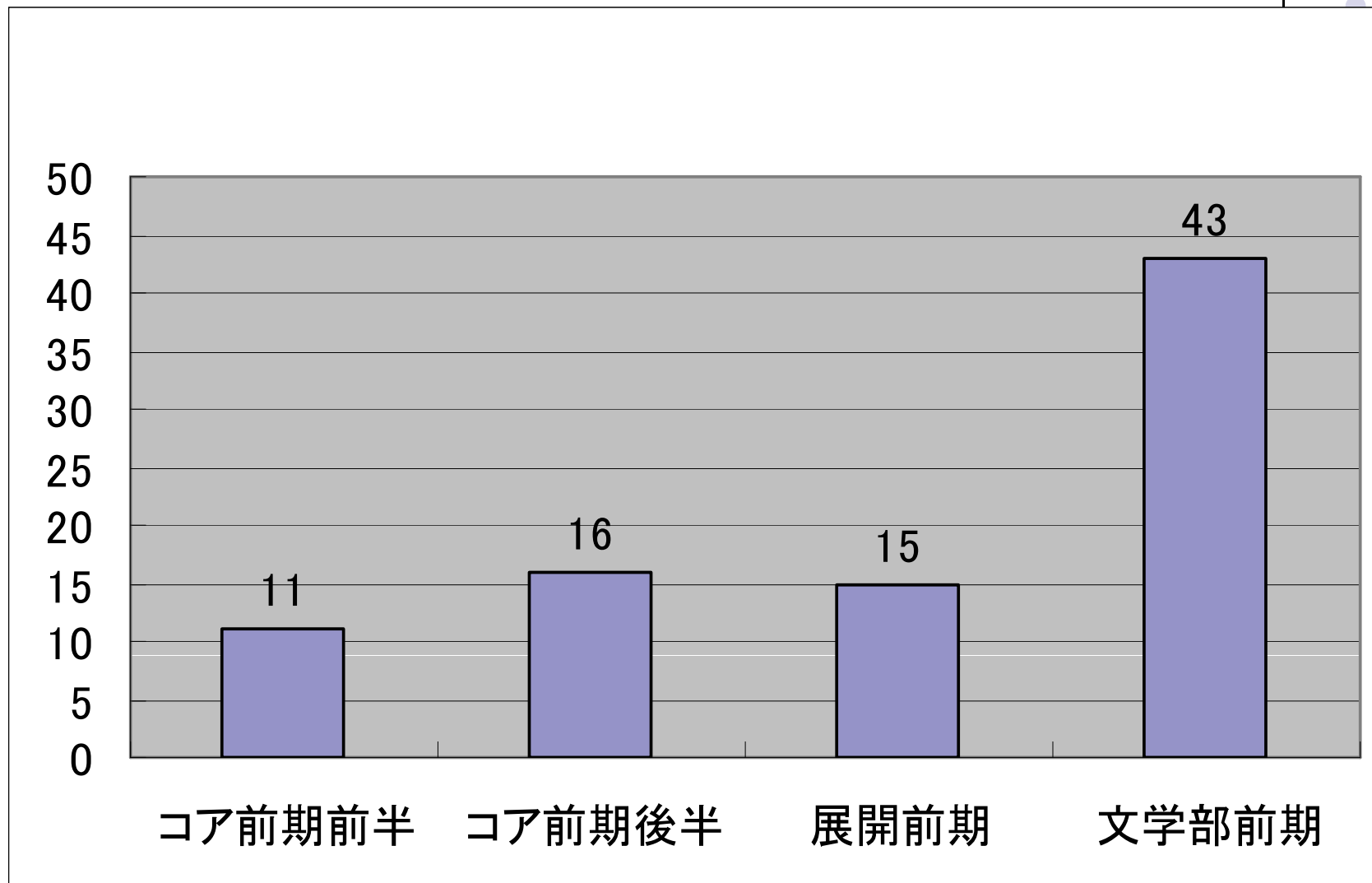
- 好意的意見
 - 参考文献が一目で分かり、学生がレポートを書く上でも有益。
 - 提出されたレポートに参考文献を読んだ形跡があった。
 - 関連文献の情報が、欠席・聞き落としがあっても図書館のウェブサイトがあれば確実に学生に伝わる。
 - 授業内容と連動させて図書館に配架されているのはとても有益。もちろん自力で探すということも大事だが、きっかけをつかみやすいという意味ではとても良いように思う。
- 問題的指摘(むしろ専門向け?)
 - 制度そのものは賛成です。しかし教養コアにこの仕組みがぴったり合うかどうかは疑問です。なぜならばほとんどの学生が専門外である場合が多く教える側からすれば「せめてこの1冊はちょっと読んでみる」的な紹介が一番なように思っています(つまり授業で「これは読め」って感じの印象をつける紹介ですね。)それを考えると、この仕組みは教養展開科目や学部の専門科目にこそあるとよいのかな(特に教養展開科目)と感じました。



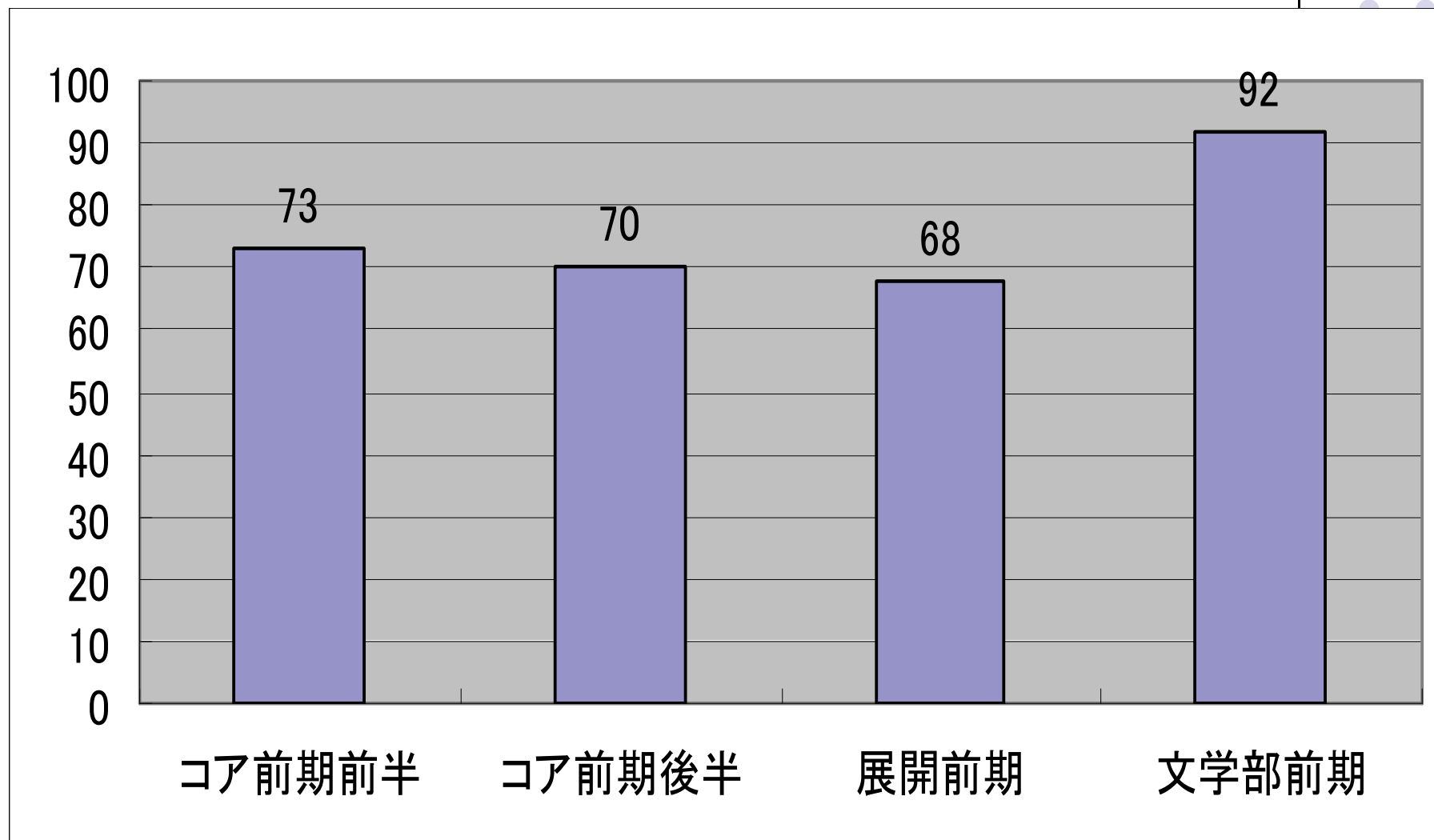
学生アンケート

- 2009年前期についてのアンケート
 - 授業種類と授業期間
 - 教養コア(前半約8週間)
 - 教養コア(後半約8週間)
 - 教養展開(16週間)
 - 文学部(16週間)

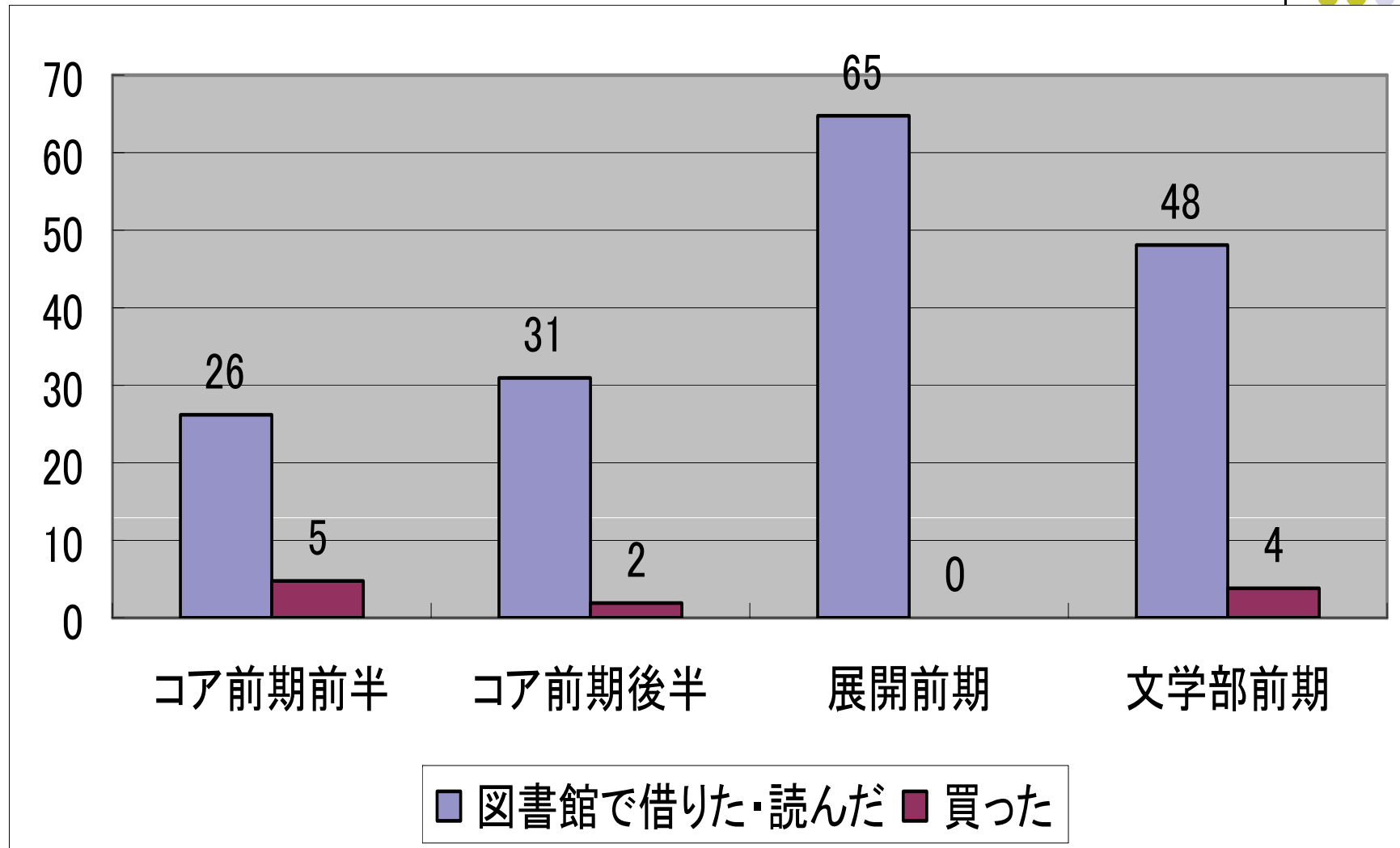
授業ナビを利用した人の割合(%)



役に立つと思った人の割合(%)



紹介された図書を利用した人の割合(%)



2009年度前期(2009年4月1日-8月9日)の 授業ナビ本貸出実績(1)



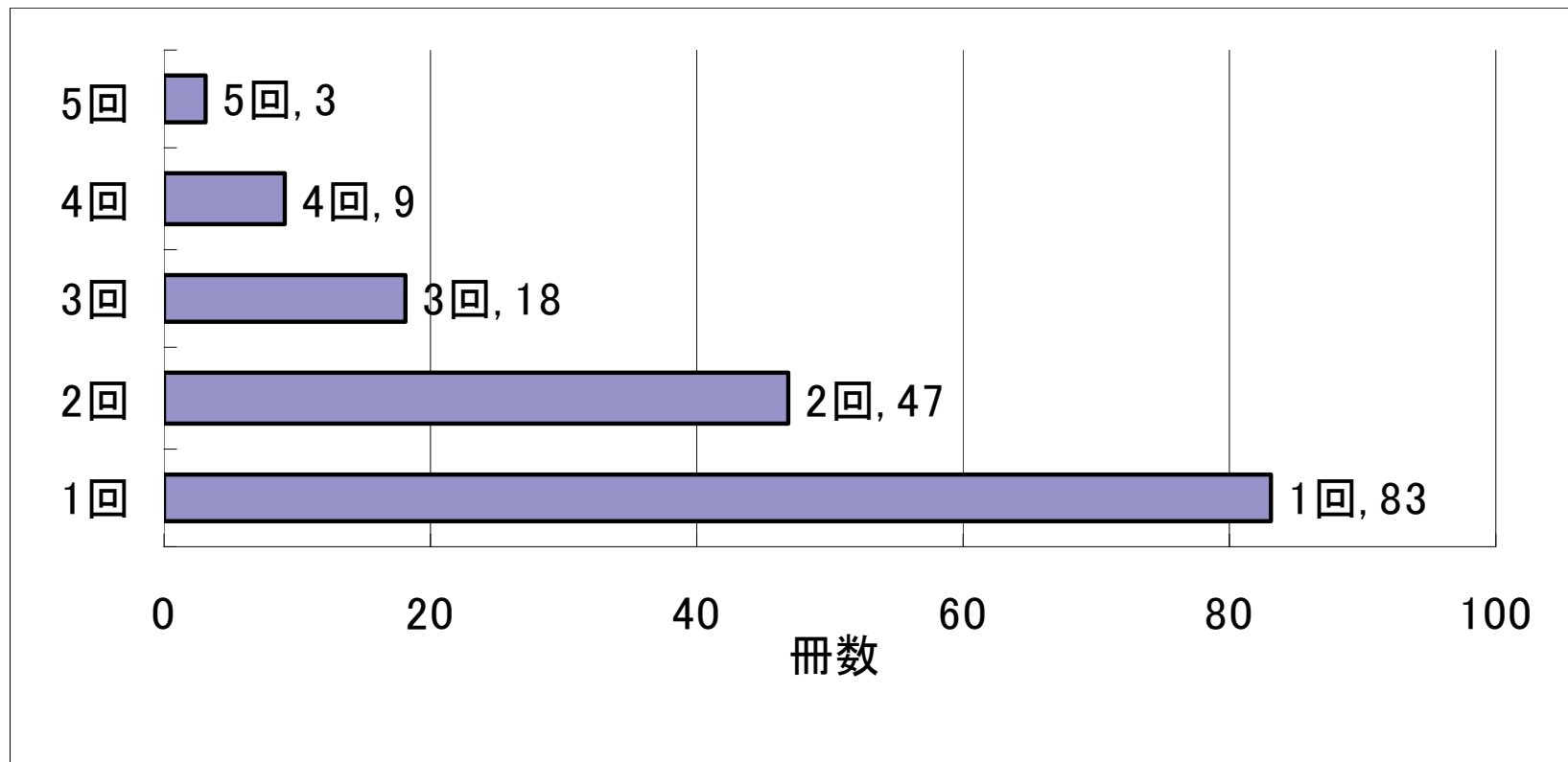
- 授業資料ナビの資料の貸出率 …… **約50%**
 - A: ナビ本貸出対象冊数 **321冊**
 - B: 貸出のあった冊数 160冊

- 本館の同時期の全貸出率は約12%

2009年度前期(2009年4月1日-8月9日)の 授業ナビ本貸出実績(2)



- ナビ本貸出回数 **282回**
 - 3回以上貸出された本が10%以上





今後の展開と課題

- 専門科目への拡大
 - アンケートに見る専門科目の有効性
- 学内CMS/LMS*との連携(ex.**Moodle)
 - 教員との連携強化と学生への可視性の向上
- 労力をいかに省くか
 - 編集・作成を簡便に、システムティックに
 - TAなど協力者への働きかけ

*CMS: Course Management System

LMS: Learning Management System

**オンラインコース作成システム



2. ポッドキャスト

ポッドキャストとは？ メリットは？

- 標準化された形式の音声や動画を配信する仕組みの一つ
- ブログ上で公開するRSSを読者が登録すると、最新のコンテンツが自動的に配信されることが大きな特徴である
- 携帯音声・映像プレイヤーを使えば、いつでもどこでも視聴できる
- 図書館に来ない学生や教員にもアピールできる

千葉大学の試み^(注6)

目標: 教員連携と学生へのアプローチ

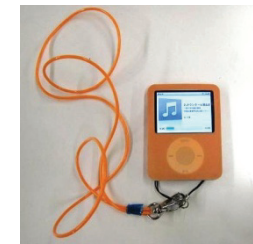


- 教員の教育研究活動や学生の学習活動を配信



- ポッドキャスト制作を通して教員との連携強化
- 学生との接触機会を増加
- 非来館型学生へのアプローチ

ポッドキャスト
ライブラリーツアー



ポッドキャスト@千葉大図書館

http://libcast-chibau.seesaa.net/



ポッドキャスト@千葉大図書館

2008年4月開設

千葉大図書館がお届けするポッドキャストプログラムです。
館内案内や教員へのインタビューをお楽しみください。

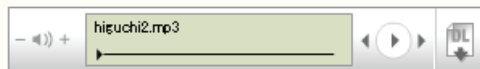
<< 亥鼻LT 14. 諸注意 | TOP | 第7回配信 専門法務研究科北村賢哲先生 >>

2009年05月21日

● 第6回配信 樋口篤志先生「千葉大学の研究を語る」

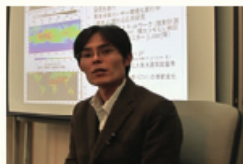
シリーズ「千葉大学の研究を語る」第6回をお送りします。

環境リモートセンシング研究センター 准教授 樋口篤志先生に環境リモートセンシング研究センターの研究をご紹介いただきました。



音声[サイズ 4.56MB 時間 7:58]

環境リモートセンシング研究センター 樋口篤志先生



動画[サイズ 21MB 時間 8:23]

↑↑↑ 動画を見るには画像をクリックしてください

【関連資料】

『図解リモートセンシング』

日本リモートセンシング研究会編、日本測量協会、2004.6 【本館閲覧室3階 512.75/ZUK、松戸



iTunes等ポッドキャストの受信ソフトにこのバナーをドラッグ&ドロップすることで、番組を登録できます。

■ カテゴリ

お知らせ (1)

コメント受付 (4)

千葉大学の研究を語る (7)

千葉大学の教育 (11)

展示 (2)

podcastライブラリーツアー (19)

podcastライブラリー (15)

ライブラリーイントロダクション (5)

Introduction to the Central Library (English) (5)

Introduction to the Central Library (Chinese) (5)

Introduction to the Central Library (Korean) (5)

図書館ガイドンス (5)

図書館Q & A (本館) (11)

■ RSS取得

図書館からのお知らせ

「MyLibrary」・「携帯版OPAC」一時停止

随時LIVのある方へのサポートを充実

教員が自らの研究を語る「千葉大学の研究を語る」など多彩なカテゴリでポッドキャストを提供しています。

配信するコンテンツ

- ライブラリーツアー、外国語案内
 - 8プログラム
- 千葉大学の研究を語る
 - 7プログラム
- 千葉大学の教育
 - 3プログラム
- 展示紹介
 - 2プログラム





コンテンツの作成と編集

- 撮影と録音
 - デジタルビデオカメラ、ICレコーダ
- 素材の加工
 - 編集に備えて、動画・静止画の明るさ・色の調整、音声については音量調整・ノイズ低減処理
- 編集と公開
 - 内容調整、テロップ、画面効果、ファイル圧縮、iPodで再生確認
- ブログ記事の編集と公開
 - 図書館の情報資源への誘導(e-book, CURATOR(リポジトリ))

ポッドキャスト作成の効果



- 教員から積極的に参加申込み
 - 「千葉大学の研究を語る」の公開後、教員からの問い合わせが多く寄せられた
(研究や取り組みを発信したいニーズがある)
- 図書の貸出やCURATOR(リポジトリ)へのアクセス増加
- 協力関係ができた教員との連携
 - 著作や報告書の寄贈
 - 成果物のCURATORへの登録
- 紹介した授業の受講者が増えた



今後の展開と課題

- コンテンツ作成スキル
 - コンテンツ作成技術の習得、継承
- 学内連携
 - 大学広報との連携、情報関連施設との連携、教員所属部局との連携等
- 図書館内業務配分の見直し
 - プロジェクト・チーム ⇒ 日常業務への負担
- 利用実態把握
 - 無料レンタルサイト運営者から提供される統計資料のみ
 - 全体のアクセス統計と、各記事へのアクセスのみ分かる

考えるきっかけを図書館がつくる！

授業資料ナビゲータ
＜PathFinder＞で、
文献検索方法を学ぶ！

千葉大学附属図書館
@ポッドキャストの情報
で研究を知る！

レポートの書き方等、
様々なガイダンス・講
演会を開催し意欲を高
める！

教員と図書館員との連携による、 考える学生の創造

— リエゾン・ライブラリアンの活動 —

レポート募集の
イベントを開催

論文の書き方についての図
書コーナーを作成

考える環境を図書館がつくる！



参考文献



- (注1) “学士課程教育の構築に向けて(答申)”. (オンライン),
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1217067.htm(参照2009-9-24)
- (注2) 金山亮子、武内八重子「日本におけるリエゾン・ライブラリアン — 千葉大学附属図書館の挑戦」『専門図書館』No.222 2007.3 p.15-20
http://mitizane.ll.chiba-u.jp/metadb/up/irwg5/liaison_librarian.pdf (参照2009-9-24)
- (注3) 日本図書館協会図書館ハンドブック編集委員会編 「図書館ハンドブック」 第6版 東京 2005年
- (注4) 鹿島みづき、山口純代「図書館パスファインダーにみる次世代図書館の可能性」『情報の科学と技術』52(10)526-537,2002
<http://ci.nii.ac.jp/naid/110002826712/> (参照2009-9-24)
- (注5) 鈴木 宏子 他「図書館による学習支援と教員との連携--千葉大学におけるパスファインダー作成の実践から」『大学図書館研究』 No.83 2008.8 p.19-24
- (注6) 鈴木宏子 他「「ポッドキャスト@千葉大図書館」の構築 ポッドキャストによる図書館セルフガイドの作成—」『情報の科学と技術』 No.59 No.1 2009.1 p34-40
鈴木宏子 他「千葉大学におけるポッドキャストによる教育研究成果の発信:教員連携の実践例として」『大学図書館研究』 No.85 2009.3 p.23-33